

2023年3月15日 光赤天連総会(online)

光赤天連が将来計画を支持(endorsement)するためのプロセス案

- 2022年9月のシンポジウムでの議論 → プロセスを定義する事で合意
 - 運営委員会と将来計画検討専門委員会で議論 → 案を作成
 - 2023年2月24日に案をMLで提示 → 問題点や懸念点の指摘は無し
 - **本日の総会 → 承認されればプロセスを発効させる**
-
- 内容
 1. 背景
 2. 光赤天連が将来計画を支持する(endorsementを出す)とは
 3. 光赤天連が発出する声明と支持(endorsement)の関係
 4. 光赤天連ロードマップと支持(endorsement)の関係
 5. **光赤天連が支持(endorsement)を出すプロセス**
 - 5.1. **計画チームから運営委員会への支持(endorsement)発出の依頼**
 - 5.2. **運営委員会から会員への提示と議論**
 - 5.3. **会員による投票**

・ 5.1. 計画チームから運営委員会への支持(endorsement)発出の依頼

- 依頼を出すのはいつでも可
- 運営委員会への提出物:
 - ・ 計画概要, 光赤天連の支持が必要な理由, サイエンスゴールと学術的価値
 - ・ 将来のスペック変更があっても「最低限ここまではできる」といえる内容
 - ・ 技術面・体制面・コスト面での実現性
 - ・ 光赤天連内におけるこれまでの報告状況, および光赤天連内外との連携状況
 - ・ CoDRなどの外部レビューを済ませている場合はそのレビュー結果の文書
- 将来の仕様変更などで「最低限ここまではできる」水準が満たせなくなった場合には, 光赤天連の出す支持(endorsement)はいったん白紙に戻す
- 5.2節の段階に進めてよいかどうかを運営委員会と将来計画検討専門委員会で審議する

・ 5.2. 運営委員会から会員への提示と議論

- 提示から投票まで数ヶ月を確保
- この期間に, 計画チームの光赤天連会員向け説明会を義務付ける(回数や形式は自由)
- この期間に, 国内有識者を運営委員会が選定してレビューを依頼
- 国内有識者からのコメントは投票前に光赤天連会員に開示して投票の参考にしてもらう

・ 5.3. 会員による投票

- 過半数を上回る賛成が得られるかどうかで判断
- この賛成とは, 光赤天連会員として当該計画推進のためにエフォートを割いて貢献するという意味(開発やサイエンス等の検討や議論, 資金獲得, その他, 程度や形式は問わない)
- 匿名性が担保されたオンライン投票の形式で実施
- 過半数の賛成が得られて支持(endorsement)を出すとなった場合でも, 反対意見について丁寧に反対理由や懸念などを確認するように努め, 以後の計画推進の参考にする